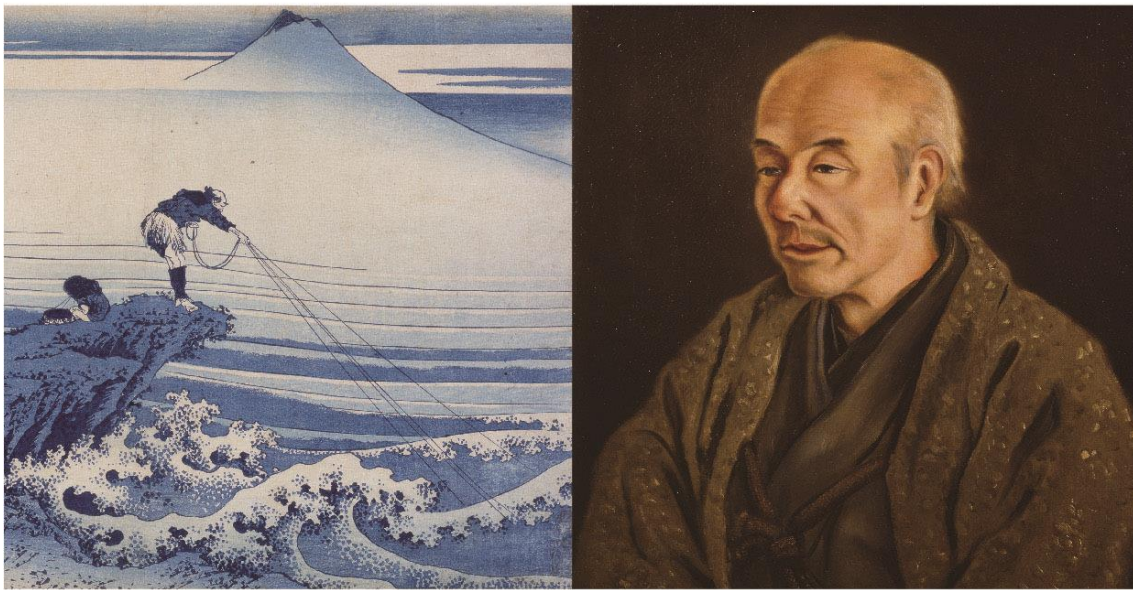




すみだ
北斎美術館を
支える
コレクター

開館記念展
II

ピーター・モースと
榎崎宗重
二大コレクション



コレクターが生涯をかけた珠玉の名品、大公開!

2017 2/4^土 → 4/2^日

【前期】2/4(土)~3/5(日) 【後期】3/7(火)~4/2(日) ※前後期で一部展示替えあり 開館時間 9:30~17:30(入館は17:00まで)
休館日 毎週月曜日 ※ただし、3/20(月・祝)は開館、3/21(火)は休館 主催 墨田区・すみだ北斎美術館



すみだ北斎美術館

〒130-0014 東京都墨田区亀沢 2-7-2
お問い合わせ: TEL 03-5777-8600(リローダイヤル)
<http://hokusai-museum.jp/collector/>



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



開館記念展Ⅱ「すみだ北斎美術館を支えるコレクター ―ピーター・モースと榎崎宗重 二大コレクション―」を開催します。

■開催概要

展覧会名：開館記念展Ⅱ「すみだ北斎美術館を支えるコレクター ―ピーター・モースと榎崎宗重 二大コレクション―」

会期：2017年2月4日(土)～4月2日(日)

前期・2月4日(土)～3月5日(日) 後期・3月7日(火)～4月2日(日)

※作品保護のため、前後期で一部展示替えを行います。

休館日：毎週月曜日(祝日・振替休日の場合は翌平日：本展期間中では、3/20(月・祝)は開館し、3/21(火)は休館)

【会期中の休館日】 2月6日(月)、13日(月)、20日(月)、27日(月)、3月6日(月)、13日(月)、21日(火)、27日(月)

開館時間：9:30～17:30(入館は閉館の30分前まで)

開館記念展Ⅱ 観覧料

	一般	高校生・大学生	65歳以上	中学生	障がい者
個人	1,000円	700円	700円	300円	300円
団体	800円	560円	560円	240円	240円

※団体は有料のお客様20名以上。

※小学生以下は無料。

※中学生・高校生・大学生(高専、専門学校、専修学校生含む)は生徒手帳または学生証をご提示ください。

※65歳以上の方は年齢を証明できるものをご提示ください。

※身体障害者手帳、愛の手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳などをお持ちの方及びその付添の方1名まで障がい者料金でご覧いただけます(入館の際は、身体障害者手帳などの提示をお願いします)。

※本展のチケットで会期中観覧日当日に限り、常設展もご覧になれます。

主催：墨田区・すみだ北斎美術館

公式サイト：<http://hokusai-museum.jp/collector/>

お問い合わせ：すみだ北斎美術館

〒130-0014 東京都墨田区亀沢2-7-2

電話 03-5777-8600(ハローダイヤル)



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



■企画展趣旨／見どころ

コレクターが生涯をかけた珠玉の名品、大公開！

美術館の活動の、最も根幹となるのは収蔵作品です。すみだ北斎美術館の収蔵作品には、墨田区が独自に収集してきた作品の他に、かつて個人のコレクターが収集してきた作品群が二つあります。一つは北斎の研究者であり、世界有数の北斎作品コレクターでもあったピーター・モース氏のコレクション。もう一つは、浮世絵版画を大きな視野でとらえ、貴重な資料を収集し研究してきた浮世絵研究の第一人者である榎崎宗重氏のコレクションです。

本展覧会では、二人のコレクターが生涯をかけて集めた珠玉の名品を前後期合わせて約 130 点、大公開します。



ピーター・モースコレクション
《富嶽三十六景 甲州石班沢》 前期



ピーター・モースコレクション
《寺島法泉寺詣》 後期



榎崎宗重コレクション
《高橋由一「三宅康直像」》 前期



榎崎宗重コレクション
《深江蘆舟「花卉図」》 後期



つながる
墨田区

報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



■二人のコレクターとコレクション

ピーター・モース氏とコレクション

ピーター・モース氏(1935-1993)は、北斎の研究者であり、作品の収集家でもありました。大森貝塚を発見したエドワード・モースの血縁(弟の曾孫)にあたり、北斎の「諸国瀧廻り」に関する論文を執筆、「百人一首乳母が絵説き」シリーズに関する単著を刊行し、また、北斎のカタログレゾネ(全作品目録)を作成しようとしていました。

モース氏のコレクションは、欧米における北斎の個人収集としては最高・最大の内容といわれており、研究者の眼で収集された希少価値の高い作品が多く含まれていることが特徴です。北斎の主な落款(春朗、宗理、北斎、戴斗、為一、卍)の作品がすべて含まれ、北斎の画歴の全体像を見渡すこともできます。

平成5(1993)年のモース氏の急逝後、そのコレクションの散逸を惜しまれた御遺族が、すみだ北斎美術館の計画に理解を示されたことから、墨田区が総数600点に近い北斎作品や研究資料などを一括取得しました。

榑崎宗重(ならざき・むねしげ)氏とコレクション

美術史家である榑崎宗重氏(1904-2001)は戦前より浮世絵雑誌の発行に携わり、趣味的な分野とされていた浮世絵を美術史の中で学問的に位置づけることに尽力しました。また、日本浮世絵協会(第二次・第三次)を設立し、会長などをつとめました。戦後間もない時期に大著『北斎論』を刊行し、北斎研究の分野でも活躍しました。また、海外の浮世絵作品を調査し、その成果本『在外秘宝』を刊行しました。榑崎氏のコレクションは、そうした研究活動の中で収集したコレクションです。

北斎作品の割合は少ないですが、浮世絵のみならず、日本及び中国の古美術から近世絵画・版画、近代絵画なども含まれています。美術史家として活躍した研究者のコレクションであり、美術史研究上、貴重な美術資料・歴史資料でもあります。また、氏のコレクションからは幅広い視点で北斎をとらえていたこともみえてきます。

榑崎氏は、美術館の設立趣旨に賛同し、墨田区の北斎資料収集、評価活動も指導され、平成7(1995)年に約480点を一括して墨田区に寄贈されました。

榑崎氏は、コレクションはコレクターの人格のあらわれであるので、貴重なのだと話していたといいます。



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



■ 展示構成

1章 ピーター・モースコレクション

北斎の研究者であり北斎作品の収集家でもあったピーター・モース氏のコレクションを展示します。

また、モース氏の生涯、研究業績、北斎に言及した言葉なども紹介し、北斎作品とモース氏の関わりを多様な観点から紹介します。

研究者の眼で収集された質の高い北斎作品の数々をお楽しみください。

《主な展示作品》

- ・前期:「富嶽三十六景 甲州石班沢」、「牡丹に胡蝶」、「さむたらかすみ」など
- ・後期:「富嶽三十六景 武州玉川」、「寺島法泉寺詣」、「初若菜」など

2章 榑崎宗重コレクション

美術史家であり、北斎研究の分野でも活躍した榑崎宗重氏のコレクションを展示します。

榑崎コレクションは、版画を含めた日本美術作品などのコレクションで、美術史研究のために貴重な作品が数多く含まれています。

また、榑崎氏の生涯、研究業績、榑崎氏による作品の解説なども紹介しながら、榑崎コレクションの魅力的な作品を紹介します。

《主な展示作品》

① 北斎と門人の作品

葛飾北斎『東遊』(前後期)、蹄齋北馬「夕立図」(前期)、高井鴻山「妖怪図」(後期)、魚屋北溪『得吉方廻瀧(ときわのたき)』(前期)など

② 榑崎コレクションの名品

高橋由一「三宅康直像」(前後期)、川上冬崖「佐久間象山蟄居図」(前期)、長澤蘆雪「洋風母子犬図」(前期)、椿椿山「水野忠啓像」(後期)など

《特設コーナー「美術館とコレクション/映像コーナー」》

美術館にとってのコレクションとは、どのような意味を持つのか、世界の美術館とそのコレクションについて紹介しながら、本展開催の背景に迫る特設コーナーを3階ホワイエに設けます。

また、ピーター・モースコレクションを紹介する映像を上映します(3階ホワイエまたはMARUGEN100(当館講座室))。



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館



■関連イベント

1.講演会

テーマ:コレクターの個性と版画が持つ力

講師:ギャラリー壮美社長 松岡 春夫 氏

場所:MARUGEN100(当館講座室)

日時:平成29年2月18日(土) 14:00～ 2時間程度(当館学芸員とのスペシャルトークを含む)

定員:60名

料金:無料[ただし、観覧券または年間パスポートが必要です]

2.スライドトーク

テーマ:すみだ北斎美術館の2つのコレクションについて

講師:学芸員

場所:MARUGEN100(当館講座室)

日時:平成29年2月11日(土)、3月25日(土) 各日とも14:00～ 30分程度

定員:60名

料金:無料[ただし、観覧券または年間パスポートが必要です]



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館